

第6学年

社会科

小単元名

2人の武将と天下統一

【学習計画】

つかむ	<p>① 学習問題を考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 合戦の数が急激に増えた後に急激に減っていること 徐々に全国が統一されていったこと 「統一された」とはどういうことか理解すること 学習問題を導き出すこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題</p> <p>織田・豊臣はどのようなことをしたから天下を統一できたのだろう。</p> </div>  
調べる	<p>② 織田信長が行ったことについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安土城の建築 鉄砲を取り入れた戦術 楽市・楽座 南蛮貿易 キリスト教の保護、教会堂や学校の設定   <p>③ 豊臣秀吉が行ったことについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検地 刀狩 大阪城の建築 石見銀山の開発 朝鮮出兵   
まとめる	<p>④ 学習問題のまとめを導き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 織田信長、豊臣秀吉が行った政策の意味を考えて分類・整理し、関係図に表現すること 

【研究協議】

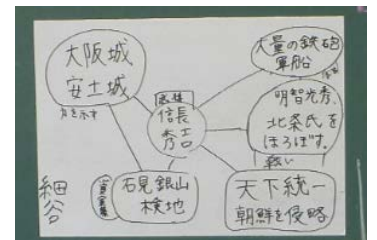
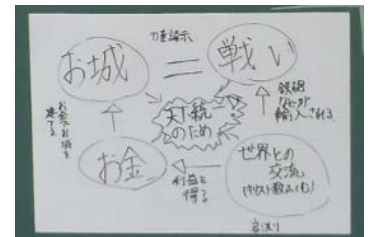
＜問題意識を高めて課題をつかむ単元の導入＞

- ・合戦の数の変化を示し、戦いが急激に増えた後、急激に減っていることに気づかせ、なぜこのように変化しているのかを考えさせた。
- ・勢力分布図を示し、徐々に有力な武将が領地を獲得していったことに気づかせ、「統一された」とはどういうことかをとらえさせた。



＜関係図にまとめて表現する単元のまとめ＞

- ・2人の武将が行ったことを関連づけて考え、なぜ天下統一ができたのかを考えさせる。
- ・経済政策で財力を蓄えたこと、城を築いて力を誇示したこと、他の有力大名の力を抑えたり戦いに勝利したりしたこと、キリスト教など他の勢力を弱体化させたことなどが理由として挙げられ、学習問題をまとめることができるようにした。
- ・児童は政策を分類することはできていたが、統一できた理由としてまとめる活動につなげることが困難な様子も見られた。



【指導講評】 久喜市立太田小学校 校長 穂村憲久 先生

- ・2人の行った政策の「共通点」を視点としているのかどうか。共通していれば統一できた理由にはならない。他の武将はどうであったのかも含めて教材研究をする必要がある。
- ・「統一できた一番のポイントは何か」を問うことで話し合いが深まる。

成果

学習指導要領の改訂にともなって「3人の武将と天下統一」という小単元を織田信長と豊臣秀吉の2人に焦点化したことにより、複数の資料を関連付けて考える活動が充実した。

課題

2人の武将が行った政策についてどのように比較するか、視点を明確にしてまとめていく。また、統一できたポイントについて関係図をもとに話し合わせ、学習を深めていく。